

明日にむかって

発行/社会福祉法人 陽光会 陽光保育園 編集/陽光保育園「明日にむかって」編集委員会
 発行日/2000年7月15日 住所/東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03(3956)1068

33号

21世紀へ向け、政治は国民の審判を受けましたが、これからの日本はどのように歩んでいくのでしょうか/1960年代の高度経済成長以来、人口の都市集中、農山漁村の過疎化、開発による自然破壊、合理性利便性追求による車社会や使い捨ての消費文化の中で、子どもを取り巻く環境の著しい変化はその育ちにも大きく影響してきているようです/昨今の青少年によるさまざまな事件を見るにつけても強く思うところは/人と人との関わりが希薄になり壊れてしまっていることも心配の種/私たちは豊かさの陰に取り返しのつかない大切なものを失ってしまったのでしょうか/上手く子育てをしなければと思う親心が、ますます子どもたちに負担をかけることにならなければよいのですが/家族の未来、子育ての未来を人との関わりあいの中で再生し、安心と喜びの中で子育てができる21世紀にしたいものです/まずは大人たちが信頼しあって生きることから始めてみましょうか。(H・N)

陽光保育園

ナ ッ プ シ ョ ッ ト

春

拡大版

砂場で遊ぶ



陽光保育園の砂場は、毎日毎日、朝から夕方まで子どもたちで大にぎわい。砂、水、スコップで自由になっふりと遊びます。4歳児はすでにスコップさばきもあさやか!? (写真上)、2歳児だって一生懸命バケツで水運び(写真左)、0歳児も水と砂が大好きです(写真下)。



子どもの日のつどい



5月9日、子どもの日を祝って「子どもの日のつどい」を催しました。園庭で餅つきをし(写真右)、子どもたちが摘んできたヨモギを入れて草餅に。海苔を巻いたり、あんやきなこをからめて(写真中)食べました。4歳児の子どもたちは、自分たちで作ったこいのぼりといっしょに「はいチーズ!」(写真上)



園外保育——3、4、5歳児



5月25日、3、4、5歳児は親子バス遠足。しかし、あいにくの雨で、所沢航空記念公園の予定が交通博物館の見学に。6月8日、こんどこそと葛西臨海公園に遠足。折からの風で、怒っている海との出会いになりましたが、たくさん波と遊んできました。

園外保育——2歳児



6月8日、あひる組(2歳児)は北区にある清水坂公園へ。大すべり台や岩場で水しぶきをあげ、大喜びの子どもたちでした。

親子でいっしょに遊びましょう

リズム、歌、砂あそび、散歩、赤ちゃん体操など

保育園の仕事が少しでも地域の皆さんのお役に立てばと思いい企画した催しです。お子さんと一緒に遊びにきて下さい。
 <対象> 就学前の乳幼児(0歳児~5歳児)
 参加費無料
 <時間> 午前9時~11時
 <場所> 陽光保育園
 ※事前にご連絡のうえ、活動しやすい服装でご参加下さい。
 ☎3956-1068
 <2000年度・今後の予定>
 9月6日(水) 10月17日(水)
 11月8日(水) 12月11日(月)
 1月16日(水) 2月15日(水)

ごあんない

◎園児募集——4歳児1~2名(7月15日現在)
 ◎バザーのご協力ありがとうございました
 7月3日(日)、真夏のような暑さでしたが、晴天に恵まれて今年の夏のバザーは無事終了しました。ご協力いただいた皆様には、心から感謝します。
 ◎いっしょに海に行きませんか
 陽光保育園・夏の交流会は、今年も海水浴です。小さいお子さん連れでも大丈夫。遠浅で波も高くない鶴原の海で、いっしょに遊びましょう。
 とき 8月5日(土)~6日(日)
 宿泊先 千葉県勝浦市鶴原 うなばら荘
 *詳細は陽光保育園までお問い合わせください。



5月27日(土)、陽光保育園後援会の総会が開かれました。総会前のひときは恒例のミニコンサート。今年は田中忠通さん(園児の祖父)のピアノと山村直義くん(卒園児)のギターで、なごやかに開会(写真上)。卒園児の演奏、花を受け取った2人(写真下)。総会は、演説後、学校、保育園など、さまざまな角度から後援会のあり方が語られ、一段とレベルアップした内容になりました。



4月22日(土)の夜、「陽光スプリングコンサート——リコーダー四重奏の夕べ」が開かれ、40余名がつどいました。春風によって奏でられるリコーダーの音色は耳に心地よく、小指ほどの小さいものから背丈ほどもある大きいものまで、10種類ものリコーダーに大人も子どももすっかり魅せられてしまいました。



1年前、突然の病に見舞われ、このたび残念ながら退職することになった保育士の山田保子さん。6月3日(土)、「明日へまた一歩」と、職員で送る会を開きました。



4月9日(日)、秩父やすらぎの丘の霊園で故平沢静子さん(陽光保育園創設者・前理事長)の納骨をすませ、「やすらかにやすみください、平沢先生」の会を開きました。参加者は34名。皆でご冥福を祈りました。このお墓には、平沢さんの夫、猶蔵さんも永眠されています。

陽光つ子はいま

ピカピカの一年生の巻



今年の三月に陽光保育園を卒園した子どもたちに聞いてみました

【質問】

- ①学校ってどんなところ？
- ②今、いちばん楽しいことは？
- ③今、大変なことは？
- ④大きくなったら、何になりたい？

学校って勉強するの？

- ◆田中勇気くん(板橋第十小学校)
①勉強するところ。遊ぶところ(校庭で)。
- ②友だちと話をすること。
- ③次の日の学校の準備(パパに「やれよ」と怒られる)。
- ④ロボットを作る人になりたい。

- ◆二宮裕太くん(前野小学校)
①勉強するところ。
- ②アスレチックで遊ぶことが、ほんのちよびとだけ好き。
- ③となりの席のサチヨちゃんと毎日けんかしてる。
- ④バイクに乗る人。

- ◆初山椋亮くん(大谷口小学校)
①字を書く練習をしたり、お勉強するところ。
- ②六年生のおにいちゃんがいっしょにゲームやハンカチおとしなどして、遊んでくれること。学童クラブも楽しい。
- ③毎日の宿題。
- ④ガソリンスタンドの人になりたい(仕事が簡単そうだから)。



いろんなものがいっぱい！

- ◆青柳勇樹くん(大谷口小学校)
①保育園は砂場とすべり台だけだったけど、学校は、大きいプールとジャングルジムもあるし、いろんなものがある、大きいところ。
- ②学校で飼っているニワトリをだっこすること。粘土や折り紙でいろんなものを作ること。
- ③字の勉強と、時間割を見て準備するのが大変。
- ④なんでもいいから、お店屋さんになりたい。

- ◆沢口 裕くん(開進第一小学校)
①遊ぶところ、授業するところ、もの練習するところ(鉄棒とか)、ものを作る場所(粘土とか箱で)、花を育てる、とかいうところ。
- ②ボールを思いっきりけつたりすること(サッカー)。遊び山であそぶこと。けり野球。
- ③テストとか「さ」「は」の練習。図書館で本を借りるとき迷ってしまい、時間内に決められないこと。鉄棒の「こうもり」。
- ④恐竜はなぜ絶滅したのかを考える博士になりたい。いろいろ考える先生になれる人(ほんとはなれないと思うけど)。

勉強が大変！

- ◆倉持 颯くん(大谷口小学校)
①勉強するところ。
- ②体育が楽しい。
- ③勉強がむずかしい。
- ④やさしい男の子になりたい。ゲームの名人。

- ◆千田航世くん(常盤台小学校)
①大変なところ。新しい友だちができてるところ。
- ②学童クラブと休み時間。
- ③勉強。ひらがなが大変。
- ④大きくなってから考える。

友だちがいっぱい！

- ◆東福耕平くん(大谷口小学校)
①宿題とかあって、勉強するところ。保育園よりも友だちがいっぱいいるところ。
- ②休み時間に友だちとサッカーすること。
- ③宿題が大変(字を書く、ことばを考える)。
- ④サッカー選手。

- ◆小貫 洸くん(大谷口小学校)
①おもしろいところで、仲間が増えて、みんなでジャンクルジムとかで遊びます。
- ②友だちと追いかけて遊んだり、うさぎやにわとりと遊ぶこと。
- ③毎日、自分のアサガオに水をあげること。楽しいけど、忘れないようにすることが大変。
- ④新幹線(500系のぞみ)の運転手。



めだか組(1歳児)も園外保育に行きます。この日は城北公園へ。木陰でおいしいお弁当を食べました



かもしか組(5歳児)の子どもたちは、ぞうきんがけだってやっています

- ◆陰山悠介くん(大谷口小学校)
①校長室とかあって、学校探検とかして楽しいところ。休み時間に友だちと遊んで楽しい。体育着に着替えるのがむずかかったけど、慣れた。
- ②算数。算数ブロックで数えるのが楽しい。
- ③朝、歩いて学校に行くこと(一五、二〇分かかる)。
- ④サッカー選手。

- ◆井出陽予さん(板橋第十小学校)
①わたしは保健の係です。病気やケガをした子を保健室に連れていく係です。
- ②学校と学童クラブ。
- ③仮面ライダークワガゴッコで、おそわれる人の役になること。悪者役の声がむずかしい。
- ④おひめさま。あと看護婦さん。あとお医者さん。

わが子への三つのプレゼント

おもしろおかしい三上満さんのお話に、思わず聞きほれた二時間でしたが、なかでも印象に残ったのが、親から子に贈りたい「三つのプレゼント」のお話。その「三つのプレゼント」とは……。

① 光るミラーボール

ミラーボールとは、パーティ会場などで天井から下がっている鏡のいっぴいいたあの球のことです。子どもに向かっていると、親はこのミラーボールのように光ってやろう、子どもが光ったときは自分も光る、それが大切なのだということ。子どもが話しかけてきたら、できるだけいい言葉で答えてやる、子どもが見せた姿に共感する、どんなときにも子どもの「よさ」を見てやる、そして叱るべきことはきちっと叱ってやる(叱られるのも、子どもの権利なのでから)。

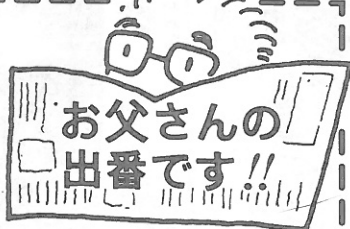
② 親の幸せな姿

わが子を幸せにしたいと思ったら、親自身がまず幸せになること。辛いことがあってもくじけず、人間らしく生きる、「自分の人生、まあ二重丸かな」と認めた生き方、そんな親の姿を見せることです。幸せに生きている親の姿こそ、子どもへの最大のプレゼントなのです。

③ 親の幸せな姿

以上が「三つのプレゼント」です。どれも胸にしみるばかり。忙しい日々のなかでも忘れないでいたいたいものです。

三上満さんの著書・紹介
「かぎりなく愛しいもの」
——輝け子どもたち——
発行 新日本出版社
定価 一六五円(税別)



パパはママのライバル

我が家では、父親と母親はライバルです。共働きなのだから、家に居る親がやる、家に先に帰った親がやるという敵しい暗黙の掟のもとに二人で家事、育児を分担しています。掃除、洗濯、食事、片付け、お風呂、寝かしつけ……不慣れなことはかりでしたが、父親はライバルに教わりながら、時にはテクニクを盗みながら、ライバルに追いつけ追い越せとがんばっています。しかし、何が母親とはちがうのです。子供たちは、保育園に迎えに行くとパパのところにとんできます。一緒に家に帰ってもパパにべったり、寝かしつける時も添い寝しながらパパだいき。それなのに「ママが帰ってきたとたん、ママおかしき。寝ていた子も起きます。「パパは？」「パパ知らない。げ、飼ってやっっている恩も忘れて……」パパは悲しくなります。生まれたときはママより先にパパが、おまたちにあいさつしたし、触ったのもやっぱりパパが先で、ママはずっと後だったぞ、とパパは心の中つぶやきます。やっぱり一〇カ月のハンディは大きいのでしょうか。父親は子供にとって、母親の代役なのでしょう。

でも、母親が仕事でいない休日は独り占めです。じゃまな(いえ、子供たちの気を散らさず)母親がいらないのいいことに、父親の独断と偏見で行き先を決めて、朝早くから出かけます。動物園、水族館、遊園地、デパートなどなど。そこで、何が母親に決定的なリードをもたらすものなのか？ いつしかそんなことを考えるようになりました。ありましたが、生き物を飼うこと。うまいことに母親は生き物が大好きです。情操教育になるし、命の大切さを教えるものもあっていい。でも何を飼いましよう？ 犬、猫、小鳥、金魚、ウサギ、モルモット……いずれもマンションで飼うには難しく、手もかかりますし、二三日家を留守にするに死んでしまいうつです。そんなある日、ホームセンターでみつけたのは、くわがたの幼虫でした。予想通り子供たちはくわがたに夢中です。水介は何度手をかまれても果敢に(懲りずに)、オスどうし「たたかいて」をさせるのに執心です。睡はとつてもこわいゴキブリとは違つことに気づいたようです。でも一番夢中になったのは父親でした。今では、三〇匹以上が本棚に置いたケースの中でつごめいています。

というふうに、我が家の父親はライバルとはいいながら「用事、育児、家事、おやじ」をモットーにがんばっています(おやじはよけいですが)。

(5歳児・瞳、3歳児・水介の父 石川久史)